



The 賑 2004

アイハウスの夏を楽しもう!

アイハウス夏祭り

入場無料

7月25日(日)  
午前11時～午後4時

アイハウス夏祭り“The 賑”は、市民や在住外国人の方々が日本の夏の風物詩である夏祭りの雰囲気味わいながら、楽しく交流を深めることのできる“国際交流の夏祭り”です。

夏祭りにはおなじみの模擬店のコーナーをはじめ、外国の料理コーナーやゲームのコーナー、浴衣の着付け体験ができるコーナーなど、今年も盛りだくさんの内容で実施します。また、フィリピンのダンスやブラジルの音楽を楽しめるステージのほかに国際交流・国際協力団体によるフリーマーケットのコーナーなど、気軽に国際交流に参加していただけます。

また、センター登録の国際交流ボランティアが積極的に運営に参加し、夏祭りを一層盛り上げます！

身近な交流は知り合うことから始まります。どうぞお気軽にご参加ください！

(詳しい内容はP4をご覧ください)

CONTENTS...

TOPICS

2003高校生文化交流使節  
帰国報告  
.....P.2

COLUMN

第3回日本-EUシンポジウム  
～多文化の彩り～ (5/8)  
.....P.3

EVENT

アイハウス夏祭り“The 賑”  
2004 (7/25)  
.....P.4

一日インフォメーションサー  
ビス (7/4)  
.....P.5

お知らせ

インフォメーションセンター  
リニューアルオープン  
.....P.5

留学生支援募金ご協力をお願い

多言語メールマガジン&Web  
版情報交換ボード、i-k o k o  
.....P.8

@OSAKA

日本・スペイン文化経済交流  
センター (エクステンション)  
代表 モンセ・マリさん  
.....P.7

REPORT

関西韓国文化院5周年記念行事  
会費の一部をバングラデシュ  
支援に寄付  
100号記念クイズ報告  
.....P.6

# 2003高校生文化交流使節 帰国報告



次世代の国際交流を担う人材の育成と、日本文化の紹介を通じた異文化理解を目的として平成3年度から毎年実施している「高校生文化交流使節派遣」。このたび、2003年度の派遣団が英国・スコットランドのグラスゴーから帰国しました。そこで、引率者の大阪市立高等学校の塚田卓矢教諭に現地での活動状況や今回のプログラムを通して高校生たちが得たものについてお話を伺いました。

## 3月25日、英国に向けて出発！

4月4日までの11日間、大阪市立の高校から選抜された10名の高校生が、英国スコットランド・グラスゴーにあるロスホール・アカデミーへ派遣されました。同校はグラスゴー市立の学校で、12～17歳までの子どもたちが学んでいます。

今回のプログラムの目的は、英語学習や異文化理解に関心や意欲のある若者を海外に派遣し、語学のみならず人的・文化的な交流を図ってもらおうというもので、今回も現地高校での文化交流活動のほか、施設見学や実習などが盛り込まれたプログラムとなりました。

\* \* \*

## ロスホール・アカデミーで文化発表

グラスゴー市内にあるロスホール・アカデミーでは、日本文化の紹介やソーラン節の披露をしましたが、このための事前研修に50時間以上取り組んだ効果もあり、「人前で」しかも「英語で」発表するというプレッシャーを見事に乗り越え、現地の生徒と先生方に大好評を博しました。また、より日本のことを知ってもらう良い機会となったようです。

多くの派遣生にとっては初めての海外渡航。期待と不安を抱えながらのホスト生徒達との初めて対面する場面では、戸惑いながらも辞書を片手にコミュニケーションを取ろうとする生徒たちの真剣な姿勢を見て、「やれば出来る！」と実感しました。



\* \* \*

## スコットランドの山・湖に感激

ブレアヴァドック（グラスゴーから約2時間の距離）では、2泊3日の野外体験学習に参加。見渡す限り山と湖というスコットランド独特の環境の中でのアウトドア活動を通して生徒同士の絆が生まれ、日々強まるのを目の当たりにし、つくづく若い高校生たちの適応能力の高さに驚かされたものです。

\* \* \*

## 今回のプログラムで得たもの

プログラムの最初の頃には、英語を話すという言葉の不安や照れから、イギリス人生徒の輪の中へ入らず

に、自分たちだけで固まっている姿をよく眼にしました。しかし、私が生徒たちに訪英の意義を改めて問いかけてからは180度態度を変え、積極的に彼らと接していくようになりました。その結果、多くの人々に温かく受け入れられ、最後の別れの際には涙をもって見送られるほどでした。

今回自らの眼で見、言葉で語り、体験したことが、彼らの外国語学習や異文化理解を深める良いきっかけになったと思います。また、このことはグラスゴーの生徒たちにも同様に言えるでしょう。両国の高校生が今回交流で得たことをきっかけに、各人が何らかの形で社会に反映することができるよう心から期待しています。

## スケジュール

	内 容
2/14 (土)	結団式
2/21 (土)～	事前研修
3/21 (日)	(土曜日：3時間、日曜日：5時間)

3/25 (木)	関空を出発 ⇒ ロンドン経由でグラスゴー着
3/26 (金)	ホスト生徒と対面 消防署やグラスゴー市内を見学
3/27 (土)	ブレアヴァドックにて野外活動（カヤックなどを体験） 夜：ディスコダンス
3/28 (日)	ロモンド湖国立公園見学 夜：ホストファミリーとの時間を過ごす
3/29 (月)	ロスホールアカデミーで文化発表① 市役所公式訪問 夜：名物fish & chipsとポーリング
3/30 (火)	市内施設見学 グラスゴー大学見学 夜：フォークダンス
3/31 (水)	エディンバラ城見学 スコットランド国会傍聴
4/1 (木)	ロスホールアカデミーで文化発表② 地域の方との交流（Tシャツ制作など） 夜：送別会
4/2 (金)	グラスゴーを出発 ⇒ ロンドン着 ロンドン市内見学
4/3 (土)	ロンドン市内見学（大英博物館など見学） ロンドンを出発 ⇒ 関空着
4/4 (日)	

5/30 (日)、派遣生による帰国報告会を実施。



## ～ 多文化共生に向けて現状と将来を語り合う ～

# 第3回 日本-EUシンポジウム 開催

5月1日、新たに10カ国が加入し、ますます多様化が進む欧州連合（EU）。それぞれの国において移民をとりまく環境は若干異なるものの、多様な文化を持つ人々の共生のあり方が共通した課題となっています。

こうした状況を踏まえ、5月8日、EU各国から作家や研究者を迎え、多文化共生社会の現状や将来について語り合うとともに、日本においても今後ますます進展するであろう多文化社会のあり方について考える「第3回 日本-EUシンポジウム 多文化の彩りー社会における多様性の魅力」を開催。約150名の参加がありました。

EU各国では、移民の文化は「ホスト社会」と呼ばれる各国の社会に暮らす人々の生活に多様性をもたらし、言語や文化、芸術、スポーツなど多岐にわたって彩りのある文化を生み出しています。今回のシンポジウムでは、多文化社会の持つメリットや、異文化を持つ人々はどのように個人のアイデンティティを維持すべきかなどの点について、モデレーターをつとめる国立民族学博物館教授 庄司 博史氏の進行のもと、フランス、ドイツ、ベルギー、イギリスから来阪した作家や映画監督、学者、また在日コリアン研究者の5人のスピーカーが多文化社会をテーマに、自身の移民としての体験や認識などに基いたプレゼンテーションとパネルディスカッションを行いました。（以下、要旨）



### 多文化社会を実現するために

パネリストの共通した認識の一つとして、多文化社会の実現のためには、社会全体と個人レベルの両方からの取り組みが必要であることが確認されました。在日コリアン3世、コリアNGOセンター代表理事 鄭甲寿（チョン カプス）さんは、日本だけでなくアジアの各国は国境を越え、異文化を広く受け入れる多文化共生

社会を目指したいと発言。フランドル（ベルギー）での生活体験をもとに、児童文学作家として活躍しているイラク出身のジャミル・シェイクリーさんからは、非常に時間がかかることではあるが、個人個人が自分自身を変革することが平和的な多文化社会を実現するための第一歩であるという意見が述べられました。

また、ドイツ在住でトルコ出身の作家、ザファ・ゼノチャクさんからは芸術家の立場から、移民問題を社会科学の問題として考えるだけではなく、人と人との心の交流の重要性を認識し、お互いを理解し合えるための教育が必要であるという意見が出されました。

### “ブリッジ・ビルダーズ”に期待されること

アルジェリア移民を両親に持つフランス出身の社会学者アズズ・ベガグさんは、ホスト社会と移民の人達の相互理解の牽引役として“ブリッジ・ビルダーズ（橋を設置する者）”と呼ばれる存在に注目しており、国際交流や教育に関わる多くの人々が自らをブリッジ・ビルダーズと認識し、相互交流に積極的に関わってほしいと述べました。さらに、北アフリカ系移民の文学にルーツに持つ新しい文学やサッカーフランス代表のメンバーの例を挙げながら、移民の文化がホスト国にどのような新しい文化を生み出しているかについて述べました。また、イギリスの著名な作家であり映画監督のハニーフ・クレイシさんからは、人々の交流こそが良好な相互友好関係を築くものであるという意見が出されました。

EUの事例をもとに、そこに暮らす人々が独自の文化や言語、価値観などを持ちながら、いかに多様な文化を受け入れ社会全体をより彩り豊かなものにするかについて、示唆にあふれるシンポジウムとなりました。今後、日本においても多文化共生社会への認識を深めていくことが求められます。

# 在住外国人や市民の方々が楽しみ、交流できるイベント アイハウス夏祭り “The 賑” 2004 開催!

7/25 日

午前11時～午後4時  
会場 大阪国際交流センター



大阪で生活する外国人の増加とともに、国籍や文化も多様化しています。アイハウスでは、大阪で暮らす外国人の方に日本文化の一端に触れていただくとともに、身近に大阪を感じていただけるよう、地域に暮らす人々との出会い、ふれあいの場となる「アイハウス夏祭り」を2000年から開催。今回で5回目を迎えます。

今年も日本の夏祭りの定番である模擬店やヨーヨー吊りなどのゲームコーナーのほか、各国の食べ物や遊びを楽しめるコーナー、日本の伝統文化を体験できるコーナーなどを設けます。また外国人の方には、ゆかたを着て祭りに参加していただくことができます（先着順）。今回もセンター登録の国際交流ボランティアが運営に積極的に参加し、祭りを盛り上げます。

身近な国際交流は知り合うことから始まります。どうぞお気軽にご参加ください。

■日 時／平成16年7月25日（日） 午前11時～午後4時  
[金券の販売は、午後3時30分まで]

■場 所／大阪国際交流センター

■主 催／（財）大阪国際交流センター

■入場料／無料

ただし、模擬店など有料コーナーのご利用には金券が必要です。  
金券は当日会場で販売します。

■内 容／

- 盆踊り・世界の音楽・踊りのコーナー ※無料
- 模擬店（焼きそば、韓国料理、インドカレー、綿菓子など）
- 日本の遊び体験コーナー
- 国際交流フリーマーケット
- ゆかた着付けサービス（外国人のみ）※無料
- その他、似顔絵・バルーンアートコーナーなど盛りだくさんです！

## ●お問合せ●

（財）大阪国際交流センター 情報サービス課

TEL：06-6773-8989

FAX：06-6773-8420

E-mail：info-staff@ih-osaka.or.jp





# インフォメーションセンターがリニューアルオープン!

インフォメーションセンター改装工事のため、みなさんにご不便をおかけしていましたが、5月21日に装いも新たにリニューアルオープンしました。

これまで同様、各コーナーの充実にありますので、気軽にご利用いただき、国際交流活動にお役立てください。

## 〈インフォメーションカウンター〉



市民や外国人のみなさんに、各国の新聞・雑誌等定期行物や各国政府観光局等が発行する資料などを、自由にご覧いただけるようにするとともに、語学

交流・文化交流等について、個人情報交換を行う情報交換ボードを設けています。

生活・観光等に関する情報提供や、国際協力・国際交流・留学情報等の最新情報も提供できるよう資料等の収集を行っていますので、どうぞご利用ください。

## 〈図書室〉

図書室では、日本や世界各国の歴史・文化・社会を紹介する図書等、約6,000冊を自由に閲覧していただけます。在留資格や国際結婚・外国人の雇用等に関する図書も充実させています。



## 〈ビデオライブラリー〉

外国・日本の文化・歴史・芸術を紹介するビデオや、日本語・外国語(英語・韓国・朝鮮語、中国語)学習教材ビデオなど、約1,320本を自由に視聴することができます。

## ●お問合せ●

(財)大阪国際交流センター 情報サービス課

TEL: 06-6773-8989

FAX: 06-6773-8420

E-mail: info-staff@ih-osaka.or.jp

外国人のための

## 外国人が住みやすい大阪に「一日インフォメーションサービス」を開催

7/4日 午前10時～午後4時  
大阪国際交流センター2階

### ～こんな相談ができます～

法律、人権、出入国、在留一般、労働、職業、進学、医療、歯科医療、薬剤、税金、市政、保険年金、子育て、その他生活一般

### ～9言語で相談できます～

英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、フィリピン語、ベトナム語

- ★ 秘密は厳守します。安心して相談してください。
- ★ 申し込みは不要です。当日会場へお越しください。

日本で暮らす外国人の多くは、母国と異なる社会や教育制度、公的機関等での手続きなど、日常生活の中で多くの不自由さを感じています。特に、来日して日が浅い外国人は、何か問題に直面すると、日本語が十分理解できないため、解決がさらに困難になってしまうような場合が多くあります。

こうした外国人の不便や悩みを解消し、大阪で快適に暮らせるよう、平成5年に各方面の専門機関が集まり、『外国人の住みやすい大阪』を考える関係機関等連絡会議』が結成されました。そこでの議論を経て、平成7年に、専門機関が一

同に会し、外国人からの相談に応じる第1回の「一日インフォメーションサービス」が実施されました。

「一日インフォメーションサービス」では、相談者と各機関の専門家との間の意思疎通を通訳ボランティアがサポートします。参加者からも「言葉の問題を気にしないで話せたので、気持ちが軽くなった」という感想が寄せられています。

大阪での生活が少しでも快適になるよう、各分野の専門家が相談に答えますので、気軽にご来場ください。

### 主催：一日インフォメーションサービス実行委員会

大阪法務局、大阪入国管理局、大阪労働局、大阪府、大阪府警察本部、大阪市、大阪弁護士会、大阪府医師会、大阪府歯科医師会、大阪府薬剤師会、近畿税理士会、大阪府行政書士会、大阪商工会議所、大阪日本語教育センター(旧 関西国際学友会)、関西国際交流団体協議会、大阪府国際交流財団、大阪市立子育てのいろいろ相談センター、大阪国際交流センター

## ●お問合せ●

(財)大阪国際交流センター 情報サービス課

TEL: 06-6773-8989

FAX: 06-6773-8420

E-mail: info-staff@ih-osaka.or.jp

## DATA

### 大阪で暮らす外国人は12万人

大阪市内の外国人登録者は約12万人。その内訳は右表のとおりとなっており、中国やフィリピン、タイなどアジアからの新渡日の人びとや、入管法の改正により、日本での活動の内容が広く認められたことに伴って、ブラジルやペルーなどからの日系2世、3世(あるいは未成年者であれば4世)などが、近年増加する傾向にあります。

国籍	登録者数	構成比
韓国・朝鮮	91,251	74.5%
中国	19,440	15.9%
フィリピン	2,458	2.0%
ブラジル	1,583	1.3%
米国	1,181	1.0%
以下タイ、英国、カナダ、ペルー		
合計	122,510	100%

平成16年3月現在

## 「関西韓国文化院 開院5周年記念行事」を開催 ～韓国文化の様々な魅力を紹介しました～

4月3日から10日までの間、アイハウスと関西韓国文化院の共催で、「韓日サクソフォンアンサンブル合同コンサート」、「韓国現代陶芸展」、「金福喜・韓国現代舞踊団公演」を大阪国際交流センター大ホールほかで開催し、多くの市民の方にご参加いただきました。

これらの催しは、関西韓国文化院の開院5周年を記念して行ったもので、サクソフォンの調べに酔いしれたジョイントコンサートに始まり、



▲ 金福喜舞踊団による「血の結婚」の一場面

伝統性と独創性をミックスした作品が展覧された陶芸展など、現代韓国芸術の魅力をも十分に味わっていただけたと思います。

記念行事の最後を飾る現代舞踊団公演をご覧になった方に感想を伺うと、「(私は、)モダン・バレエを習っていますが、思わず息をのむような技術水準の高さに驚くばかりでした。」と、絶賛されていました。

これらの記念行事を通して日韓両国の相互理解と友好親善が、今後ますます深まることと思われます。

日本と韓国の交流に精力的に取り組んでいる関西韓国文化院ですが、この4月からは語学講座を開講するなど、ますます活発に文化交流を進めています。

映画・テレビドラマなど、ブームを起こしている現在、ますます韓国から目が離せません。

## 会員のみなさまからの善意をバングラデシュ支援に

アイハウスでは、会員制度を設け、法人・個人の方々から広く事業へのご支援をいただいています。平成13年度から、個人会員のみなさまからの会費の10%を「国際協力募金」として、国際協力の分野で顕著な活動を展開している機関や団体へ寄附しています。

このたび、平成15年度分として、「国際エンゼル協会」に9万円を寄附しました。同協会は、アイハウスが国際理解教育推進を目的として出版した絵本「にむの木のある村」の舞台となったバングラデシュにおいて、孤児の救済をはじめ教育支援や農村開発、保健衛生などの分野で活動を展開しているNGO(民間団体)です。アイハウスからの寄付金は現地での医療施設建設などに役立てられます。

会員のみなさまへお礼とご報告をいたしますとともに、より多くの方々からのご支援をお願いいたします。

### 《国際エンゼル協会》

1982年設立。84年から途上国への開発協力に取り組む。99年に兵庫県から特定非営利活動法人の認証を受ける。協会事務局は兵庫県伊丹市。<http://www.angel-ngo.gr.jp>

### ◎ アイハウスサポーターになりませんか？

個人会員 年会費 1口 10,000円

法人会員 年会費 1口 100,000円

※会費については個人・法人ともに税法上の優遇措置が受けられます。



### ◎ 特典

アイハウスが発行する各種定期刊行物の送付

アイハウス主催事業へのご招待・ご優待

会員交流会へのご招待

アイハウス館内施設の割引 など

●詳しくは下記へお問合せください。ご案内資料をお送りします。

●センターホームページからもお申しいただけます。

<http://www.ih-osaka.or.jp>

### ●お問合せ・お申込み●

(財)大阪国際交流センター 総務課

TEL: 06-6772-6389(直) FAX: 06-6772-7600

E-mail: [soumu@ih-osaka.or.jp](mailto:soumu@ih-osaka.or.jp)

## アイハウスニュース100号記念クイズ 多数のご応募ありがとうございました！

厳正な抽選の結果、全問正解された10名の方にアイハウスオリジナル レインボーカードをお送りしました。

《クイズの答え》 Q1: 大阪国際交流センターの愛称は? → ㉠ ㉡ ㉢ ㉣ ㉤

Q2: 大阪国際交流センターが運営する国際交流イベント・ボランティア情報ステーションの名前は? → ㉠ - ㉢ ㉣ ㉤ ㉥

Q3: 多言語メールマガジンで配信している言語はいくつ? → ㉢ 言語

## 遊び心と広い視野でスペインの魅力を紹介！

### 若者をターゲットにした交流事業を推進



▲ 所長のモンセ・マリさん

日本・スペイン文化経済交流センター（エクステンション）は1986年に設立され、教育や文化イベント、ビジネスプロモーションの分野で多くの実績を積んできました。

エクステンションはスペイン語・カタルーニャ語の教育をはじめ、あらゆる年代の学生への語学・専門留学のサポートを行っています。若者がスペイン語に興味を持ち、スペインへ行ってみたいと思うようなきっかけを作っていくことが私たちの仕事です。特に力を入れているのが高校生へのスペイン語教育の促進で、日本初かつ唯一の高校生向けスペイン語スピーチコンテストを毎年開催しているほか、スペインの同年代の若者との交流の機会も提供しています。

これまでの私の経験から言えることは、どの分野においてもコミュニケーションが何よりも重要である、ということです。そして、それは国際交流においては特に重要なことだと思っています。

一方で、日本とスペインとの企業間の取引や交渉をサポートする活動も行っています。他のヨーロッパの国々が関西地区に商工会議所を構えているのに対し、スペインはそういった機関を持っていません。エクステンションは商業面、技術面での提携に関心を持つ多くの企業をサポートしています。

このほか、スペインの文化を知り、楽しんでいただくためのイベントも開催しています。小さなコンサートから展覧会、セミナー、コンテストの開催など多岐に渡ります。ご興味のある方はぜひご参加ください。

### 関西を拠点に活動の輪を広げたい

1998年にエクステンションの活動と並行して、関西カタルーニャセンターが設立されました。このセンターはスペインのカタルーニャ州政府公認の機関で、世界中にあるカタルーニャセンターの一つです。

エクステンションと関西カタルーニャセンターは、共通の目標を持って互いにサポートし合っています。エクステンションはスペイン全域に対して活動し、関西カタルーニャセンターはカタルーニャ州に特化してその魅力あふれる文化や観光、商業を広める活動を行っています。

私たちの活動方針はとてもシンプルです。1つ目は高いクオリティの活動を維持すること。2つ目は“遊び心”と広い視野を持ち、臨機応変に活動していくこと

です。私たちは互いに一生懸命活動することで、2倍有益な成果が得られるという経験から学んできました。

関西の文化や人々には“遊び心”が溢れています。私たちはみなさんと一緒に活動できることを光栄に思っています。スペインに関することなら何でもご遠慮なくお問い合わせください！



▲ イベントの企画を練るスタッフ

#### エクステンション

(日本・スペイン文化経済交流センター)

<http://home.att.ne.jp/sun/exosaka>

TEL : 06-6251-2686

〒541-0059 大阪市中央区博労町3-1-8  
地産心齋橋Ⅱ番館403号

#### 関西カタルーニャセンター

<http://home.att.ne.jp/banana/cck>

TEL : 06-4704-4690

所在地はエクステンションと同じ



— 外国人留学生にあなたのご支援を！ —  
**外国人留学生支援市民募金**



現在、大阪では約9,000人の外国人留学生が学んでいます。留学生は、大阪や日本のよりよき理解者、国際交流の担い手であるばかりでなく、将来は出身国と大阪との交流の架け橋となって各方面で活躍することが期待されています。しかしながら、留学生、特に生活費を自宅からの送金やアルバイト収入に頼っている私費外国人留学生の多くは経済的に苦しい状況にあり、志半ばにして帰国を余儀なくされる場合も多く、彼らを取り巻く環境は厳しさを増しております。

アイハウスでは、市民や企業等からのご協力により、大阪で安心して勉学を続けられるよう各種の支援を行う「外国人留学生支援市民募金」を設置しております。

留学生支援のため、多くの皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

■ **資金貸付事業**

大阪市内の大学等で学ぶ私費外国人留学生の皆さんが、病気や事故などで、生活費、医療費、学費、一時帰国費として、緊急にあるいは多額の出費を必要とする場合に、資金の貸付を行っています。(生活費は5万円を限度、医療費・学費・一時帰国費は10万円を限度)

■ **冠奨学金支給事業**

奨学金提供者に奨学金の名称や、奨学生の出身国・地域、大学等、専攻分野の指定をしていただく奨学金です。

■ **特別奨学金支給事業**

大規模な震災により家族、実家が大きな被害を蒙り、留学生活に支障が生じた留学生に特別奨学金の支給を行っています。(1999年9月の台湾大地震で被災した留学生に5万円の特別奨学金を支給)

(財)大阪国際交流センターは特定公益増進法人に認定されており、当財団への寄付金は、寄付をされた皆様の法人税、所得税などにおいて、一般の寄付金に比べ優遇措置されています。なお、ご寄付をいただいた場合は、当センターから証明書をお渡ししますので、所得税の確定申告書により、それぞれ所定の手続きをとっていただくことになります。

● **お問合せ** ●

(財)大阪国際交流センター 企画事業課  
 TEL : 06-6772-7327  
 FAX : 06-6773-8421  
 E-mail : kikaku@ih-osaka.or.jp

**ご存知ですか？**

**多言語メールマガジン**  
**Web版 情報交換ボード**

<http://www.ih-osaka.info>

日本語  
 English  
 英語  
 中文  
 中国語

日本語  
 Español  
 スペイン語  
 Português  
 ポルトガル語

**アクセスをお待ちしています!**

**多言語メールマガジン**

- 国際交流に関する最新ニュース
- 在住外国人の方に役立つ最新の生活情報
- 国際交流イベントへの招待やプレゼント情報など  
**登録者募集中!! (無料)**

**Web版 情報交換ボード**

- 語学の交換レッスン
- 文化交流イベント情報など

みなさんの国際交流に役立つ楽しい情報満載です。

● **お問合せ** ●

(財)大阪国際交流センター 企画事業課  
 TEL : 06-6773-8182  
 FAX : 06-6773-8421  
 E-mail : kikaku@ih-osaka.or.jp

■ **編集・発行**

財団法人 **大阪国際交流センター**

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8丁目2番6号  
 TEL.06-6772-5931 (代) FAX.06-6772-7600  
<http://www.ih-osaka.or.jp> <http://www.i-koko.com>

